

オートシェイプの使い方（ブロック矢印）

Word,Excel,PowerPoint で図形の描画に利用できるオートシェイプは、上手に利用すると表現の幅が格段に広がります。今回はテキストボックスなどと組み合わせて、展開や順序を説明するのに便利な「ブロック矢印」の使い方を紹介します。

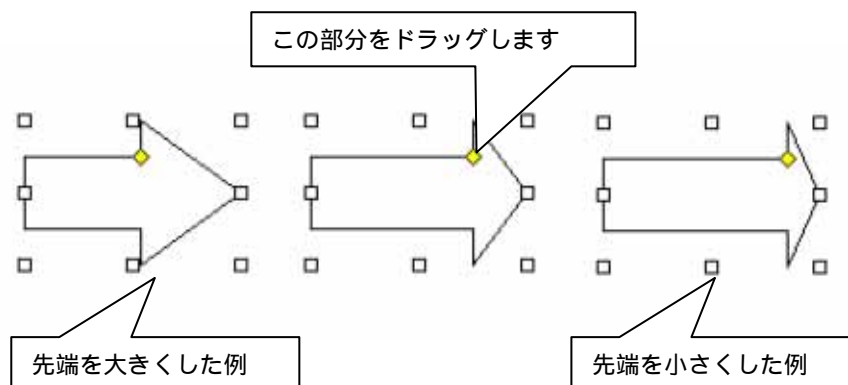
「図形描画」ツールバー（通常は画面の下部に表示されます）から「オートシェイプ」をクリックし、「ブロック矢印」から種類を選びます。



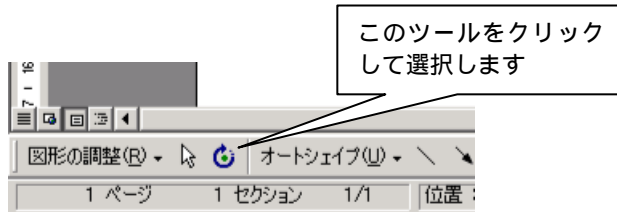
マウスマウスカーソルが十字に変わりますので、文書内でドラッグします。



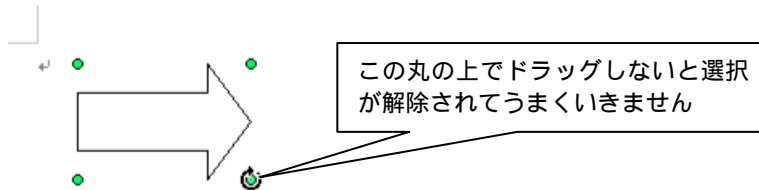
矢印の先端部分の大きさは、黄色のひし形の部分をドラッグすることで変更できます。



矢印の向きを回転させたい場合は、回転させたい矢印を選択してから「図形描画」ツールバーの回転ツールをクリックします。



矢印の四隅に緑色の丸が表示されますので、いずれかの丸の上にマウスカーソルを移動し、回したい方向にドラッグします。



以下のようなイメージで回転することができます。なお、回転（ドラッグ）中に「Shift」キーを押していると一定の角度でしか回転しなくなりますので、45°や90°に回転させたいときなどは便利です。

